

教科教育学コンソーシアム

第5回シンポジウム

教科教育学研究の 新・論点争点

— 学の越境がもたらす倫理的、
政策的、社会的課題を考える —

2025 3 / 9 (Sun.)

13:30 – 16:30

キャンパスプラザ京都 第3講義室
(オンライン配信あり)

▶ これまで教科教育学コンソーシアムでは、**内的な越境**のあり方を、すなわち、個別教科・個別学協会を越えた共通言語の共同構築をめざして共同研究を進めてきた。このミッションの達成に目途立ってきた今、次に挑戦するべきは教科教育学の**外的な越境**である。

▶ 社会のルールや規範が大きく変動する今、**学問というウチの世界**を越えて**ソトの世界**（①学校の現場、②政治の領域、③一般市民の場）に関与・交渉し、成果を発表しようとするとき、私たちはどのような新たな論点争点に直面するだろうか。また、どのようなことに留意しながら、教科教育学の価値をソトに訴えていけばよいのだろうか。

▶ 本シンポジウムでは、科研共同研究の3年次の成果をもとに、学の越境がもたらす倫理的、政策的、社会的課題について議論を行いたい。

主催：教科教育学コンソーシアム (JCOSPA)

申込：以下より、事前登録をお願いします。

教科教育学コンソーシアムのホームページ (<https://jcospa.org/>)

または右のQRコードから

メールでのお問い合わせ ▶ jcrda1@hiroshima-u.ac.jp



「教科教育学コンソーシアム」とは、主に教育関連学会連絡協議会に加盟する教科教育学関連の学協会で設立された組織です。現時点で14の学協会で構成されています。

1. 開会のことば (13:30-13:35)

深澤清治

(教科教育学コンソーシアム代表理事)

2. 基調講演 (13:35-15:25)

(1) 趣旨説明

(2) 報告

- ・ 学校の現場との交渉
 - 研究倫理に関する新・論点争点 —
 - 中村大輝 (宮崎大学)
- ・ 政治の世界との交渉
 - 制度設計に関する新・論点争点 —
 - 川口広美 (広島大学)
- ・ 教師・市民との交渉
 - 社会的受容に関する新・論点争点 —
 - 渡部竜也 (東京学芸大学)
 - 星 瑞希 (北海道教育大学)

3. 総合討論・協議 (15:30-16:25)

草原和博 (研究推進委員会委員長)

4. 閉会のことば (16:25-16:30)

清水美憲

(教科教育学コンソーシアム副代表理事)

全体進行 岡出美則

(研究推進委員会副委員長)

※本シンポジウムは、科学研究費・基盤研究(B)「教科教育学のターミノロジーとメソドロジーの体系化研究—学術共同体の構築のために—」の補助を得て開催します。